

ハンドボール競技規則 2019年版		ページ	条項	内容	
第1条	コート	p.2	1の1	コートの広さ	
		p.2	1の2	ゴール	
		p.2	1の3	ラインの太さ	
		p.3	1の4	ゴールエリア	
		p.3	1の5	フリースローライン	
		p.3	1の6	7mライン	
		p.3	1の7	ゴールキーパーライン	
		p.3	1の8	センターライン	
		p.3	1の9	交代ライン	
第2条	競技時間、終了合図、タイムアウト	競技時間	p.7	2の1	競技時間
			p.7	2の2	延長戦
			p.8	2の3	終了合図
		終了合図	p.8	2の4	終了合図直前に行われた行為
			p.9	2の5	ラストワンスロー
			p.9	2の6	ラストワンスローの際の役員の違反
			p.9	2の7	誤った終了合図
タイムアウト	p.10	2の8	いつタイムアウトを取るか		
	p.10	2の9	タイムアウトの手順		
p.11	2の10	チームタイムアウト			
第3条	ボール	p.12	3の1	ボールの素材	
		p.12	3の2	ボールの大きさ	
		p.12	3の3	ボールの準備	
		p.12	3の4	ボールの交換	
第4条	チーム、交代、服装	チーム	p.13	4の1	チームの構成
			p.13	4の2	役員の構成
			p.14	4の3	競技への参加資格
		プレイヤーの交代	p.14	4の4	交代の手順
			p.15	4の5	不正交代
			p.15	4の6	余計にプレイヤーが入ったら
		服装	p.15	4の7	ユニフォーム
			p.16	4の8	背番号、胸番号
			p.16	4の9	シューズ、身につけてはならないもの
		プレイヤーの負傷	p.17	4の10	出血
p.17	4の11		コート内への入場許可(治療行為)		
第5条	ゴールキーパー	許される	p.18	5の1	ボールに触れること
			p.18	5の2	動くこと
			p.18	5の3	ボールを持たずに離れること
			p.18	5の4	ボールと共に離れること
			p.18	5の5	相手を危険にさらすこと
		許されない	p.18	5の6	ボールをコントロールして離れること
			p.18	5の7	外側のボールに触ること
			p.19	5の8	取り込むこと
			p.19	5の9	ボールを持って再び入ること
			p.19	5の10	足で触れること
			p.19	5の11	ゴールキーパーラインを超えること
第6条	ゴールエリア	p.20	6の1	GKだけが入れる	
		p.20	6の2	CPが侵入したら	
		p.20	6の3	侵入しても違反にならない	
		p.20	6の4	GKがボールをコントロールしていると	
		p.21	6の5	転がっている間は	
		p.21	6の6	CPがゴールエリア内のボールに触ったら	
		p.21	6の7	自陣のゴールエリア内に入れたら	
		p.21	6の8	プレーイングエリアに戻ったら	
第7条	ボールの扱い方、パッシブプレー	ボールの扱い方	p.22	7の1	使用できる身体の部位
			p.22	7の2	3秒間持つこと
		許される	p.22	7の3	3歩まで動くこと
			p.23	7の4	ドリブル
			p.23	7の5	持ち替えること
		許されない	p.23	7の6	座りながら、横たわりながら
			p.23	7の7	再びボールに触れること
			p.23	7の8	膝より下の部位で触れること
			p.23	7の9	レフェリーが触れた場合
			p.24	7の10	コート外を利用すること
パッシブプレー	p.24	7の11	パッシブプレー		
	p.24	7の12	予告合図から判定まで		
第8条	違反、スポーツマンシップに反する行為	p.25	8の1	許される行為	
		p.25	8の2	罰則の適用に相当しない違反行為	
		p.26	8の3	罰則を適用する違反行為	
			8の3	どの罰則を適用するかについての判断基準	
		p.27	8の4	即座に2分間退場とすべき違反行為	
		p.28	8の5	失格と判定すべき違反行為	
		p.29	8の6	意図的で、危険かつ悪質な違反行為による失格(報告書を伴う)	
		p.30	8の7	罰則を段階的に適用すべきスポーツマンシップに反する行為	
		p.31	8の8	即座に2分間退場とすべきスポーツマンシップに反する行為	
		p.31	8の9	失格と判定すべき著しくスポーツマンシップに反する行為	
		p.32	8の10	極めてスポーツマンシップに反する行為	
第9条	得点	p.33	9の1	得点	
		p.33	9の2	スローオフの笛で取り消しはできない	
		p.33	9の3	勝敗は	
第10条	スローオフ	p.35	10の1	コイントス	
		p.35	10の2	得点後はスローオフで再開	
		p.35	10の3	スローオフの場所、タイミング	
		p.36	10の4	スローオフの際のプレイヤーの位置	
第11条	スローイン	p.37	11の1	スローインになる場合	
		p.37	11の2	設備に当たった場合	
		p.37	11の3	地点	
		p.37	11の4	スローインを行うプレイヤー	
		p.37	11の5	相手プレイヤーの位置	

ハンドボール競技規則 2019年版		ページ	条項	内容			
第12条	ゴールキーパースロー	p.38	12の1	どのような場合にゴールキーパースローになるか			
		p.38	12の2	どのように行うか ※ クイックハンドボール			
第13条	フリースロー	p.40	13の1	どのような場合にフリースローとなるか			
		p.40	13の2	競技を早まって中断しないように			
		p.40	13の3	競技の中断中に起こった場合は			
		p.41	13の4	競技が中断した後は			
		p.41	13の5	相手のフリースローになった場合相手プレーヤーは			
		p.42	13の6	フリースローの実施			
		p.43	13の7	スローを行うチームの味方のプレーヤーは			
		p.43	13の8	相手のプレーヤーは			
		p.44	14の1	次の場合に7mスローを判定する			
		p.44	14の2	プレーヤーがボールと身体を完全にコントロールしていれば			
第14条	7mスロー	p.44	14の3	タイムアウトを取ることができる			
		p.45	14の4	3秒以内にゴールに向かって			
		p.45	14の5	7mラインから1m後方までの位置を取る			
		p.45	14の6	再び触れることはできない			
		p.45	14の7	味方のプレーヤーは			
		p.45	14の8	相手チームのプレーヤーは			
		p.45	14の9	GKがゴールキーパーラインを踏み越えたら			
		p.45	14の10	7mスローを準備したら交代はできない			
		第15条	スローの実施に関する一般的な指示	スローを行うプレーヤー	p.46	15の1	スローを行うプレーヤー
				スローを行うプレーヤーの味方	p.46	15の2	手を放したときにスローを行ったとみなす
防御側プレーヤー	p.46			15の3	味方のプレーヤー		
競技の再開における笛の合図	p.47			15の4	防御側プレーヤー		
処置	p.47			15の5	競技の再開における笛の合図		
	p.47			15の6	処置		
	p.48			15の7	実施中にスローを行うプレーヤーや味方が違反した場合は		
	p.48			15の8	スローに関する違反は		
第16条	罰則	警告	p.49	15の9	スローに対する違反		
			p.50	16の1	警告とする場合		
		退場	p.50	16の2	イエローカードを上げる		
			p.50	16の3	退場とする場合		
		失格	p.51	16の4	タイムアウトを取った後、2本の指を伸ばす		
			p.51	16の5	3回目の退場となる場合		
			p.52	16の6	失格となる場合		
			p.52	16の7	レッドカードを上げる		
		p.52	16の8	失格となった選手、役員は			
		p.53	16の9	一度に行った複数の違反(重たい罰則を適用する)			
p.53	16の10	7mスローには参加できない					
p.54	16の11	競技時間外に違反をしたら					
第17条	レフェリー	p.55	17の1	同等の権利を持つ			
		p.55	17の2	レフェリーの任務はいつからいつまでか			
		p.55	17の3	コートと両ゴール、ボール、ユニフォーム、記録用をの確認			
		p.55	17の4	コイントス			
		p.55	17の5	同じ2名が競技を管理する。もしできなくなったら			
		p.55	17の6	罰則の重さが異なったら重い方を適用する			
		p.56	17の7	判定が差し違えた場合は			
		p.56	17の8	得点、警告、退場、失格を管理する			
		p.56	17の9	競技時間を管理する			
		p.56	17の10	記録用紙が仕上がっていることを確認			
		p.56	17の11	チーム責任者だけがレフェリーに話しかけられる			
		p.56	17の12	競技を中断、中止する権限がある			
		p.56	17の13	黒色はレフェリーのためのもの			
		p.56	17の14	通信機器を使用することができる			
第18条	タイムキーパー、スコアラー	p.57	18の1	タイムキーパーとスコアラーの任務内容			
		p.57	18の2	公示時計の設備がない場合			
ジェスチャー		p.58	〔1. ゴールエリアへの侵入～17. パッシブプレーの予告合図〕				
競技規則解釈	p.70	1	終了合図の後のフリースロー(2:4～6)				
	p.71	2	タイムアウト(2:8)				
	p.72	3	チームタイムアウト(2:10)				
	p.74	4	パッシブプレー(7:11～12)				
	p.79	5	スローオフ(10:3)				
	p.80	6	「明らかな得点チャンス」の定義(14:1)				
	p.81	7	タイムキーパーやTDによる競技の中断(18:1)				
	p.83	8	負傷したプレーヤー(4:11)				
交代地域規定		p.85					
競技規則運用に関するガイドライン	プレーヤーとチーム役員の役割変更(p.88)	失格の判定における報告書の有無について(p.93)					
	コート作成(p.88)	コートプレーヤーのゴールエリア侵入(p.93)					
	チームタイムアウト(p.89)	つばを吐く(p.93)					
	プレーヤー間の交代(p.89)	競技終了30秒間(p.94)					
	追加のプレーヤー(p.89)	"3mの距離を確保しない"とき(p.94)					
	マスクやサポーターなど許される装具(p.90)	競技終了30秒間(p.94)					
	松やに(p.90)	競技終了30秒間における身体的な違反に対する失格(p.94)					
	負傷したプレーヤーの救護(p.90)	競技終了30秒間でのアドバンテージについて(p.94)					
	負傷したゴールキーパー(p.91)	スローインの実施(p.95)					
	ドリブルからのステップの開始(p.91)	各種スローの実行(p.95)					
	パッシブの予告合図後のカウント(p.92)	失格を宣告されたプレーヤー・チーム役員(p.95)					
	不正入場したプレーヤーやチーム役員(p.92)	プレーヤーを危険にさらす観客(p.96)					
報告書を伴う失格の後のさらなる処罰(p.92)							
IHFガイドライン通達	ゴールキーパーの失格(p.97)	ビデオ判定の導入(p.97)					
	無人のゴールと7mTの判定(p.97)	異なった色や番号でコートに入った場合(p.97)					
付録	p.98	付録1 フェイスマスクに関して					
	p.104	付録2 着用できない装具					
	p.114	付録3 パッシブプレーのカウント					
コートとゴールに関するガイドライン		p.117					